



理性 情熱 友愛

三郷市立北中学校

挨拶一番 授業一番

花一番 清掃一番 歌声一番

第3学年 進路通信

平成28年10月4日

第24号

「模擬試験・実力テストの結果をどう生かすのか」が大事！

先日、第2回埼葛地区学力検査の結果を返却しました。まずは、成績表に目があったことと思います。「500点満点のうち、自分は何点取れたのか」、「同じ学校を希望している生徒の中で、自分はどのくらいの位置にいるのか」は、入試を数ヶ月後に控えたみんなにとって重要なポイントだと思います。しかし、その結果を見て、「いい結果だった」、「だめだった」という感想しか持っていないようでは困ります。たしかに、こういった数値データで表される実力テストの結果はとても大事ですが、それよりも『この結果を、次にどうつなげるか』ということの方がもっと重要なのです。

今回の結果が良かったからといっても、入試本番はまだもう少し先です。これからの頑張り方しだいで、良い方向にも、悪い方向にも、結果はまだまだ変わっていきます。**決して油断しないこと。「受験に絶対はない」ということを肝に銘じて、さらに、向上させるために努力しましょう。**

ところで、テストが返された後、「どの部分ができたのか、できなかったのか」まで、きちんと見直すことができたでしょうか。**実力テストの1番の目的は、「自分がどんな単元のどんな内容が苦手なのかを把握すること」です。**間違えたり、解けなかった問題を洗い出し、「きちんと問題を読めばできた」、「応用的な力を高める必要がある」など、ミスの原因と解決策をしっかりと分析しておきましょう。「漢字の書き取りでトメやハネが正しくなかった」、「数学の計算問題で符号をつけ忘れた」など、自分の解き方のクセやミスしやすいポイントなどをまとめておくことも効果的です。そして、苦手分野や自分の解き方のクセが分かったら、今回の埼葛テストや類題（似たような問題）を解き、解法をしっかりと身に付けるまでやっておきましょう。**とくに、復習の中で優先的に取り組まなければいけないのは、「全体の正答率が高いのに、自分は解けなかった問題」です。**この部分をしっかりと補強しておかないと、他の受験生との差を埋めることができず本番で苦戦することは間違いありません。

例えば、埼葛テストや外部の模擬テストなどの問題を切り取って、解き方も書いておく「苦手克服ノート」を作っておくのもいいと思います。過去問を解いたときなども、同じように苦手な部分をまとめておくといいですね。**勉強の質を向上させ、苦手が少しでも減るような工夫をしていくことが大切です。**

10月になりました。公立は「説明会」へ、私立は「個別相談」へ！

各クラスに配布してある「学校説明会・体験入学等カレンダー」。10月に入り、私立では「個別相談」という文字が目立つようになってきました。**各校の募集要項が完成し、推薦等の基準が確定した**ためです。北中生の中にも、すでに個別相談会に参加し、「推薦書」の用紙をいただいたり、「個別相談カード」に推薦可の印をもらったり、「〇〇推薦で受験して下さい」と良いお返事をもらっている人もいますね。**自分が受験する学校の個別相談には、必ず保護者の方と一緒に行って下さい。行った場合には、募集要項・願書・推薦書等の出願に必要な書類を手に入れ、どんな話だったのか、担任の先生へもきちんと報告してください。**また、公立の説明会も残り少なくなってきました。次の説明会が年内最後という学校もあるようです。**行きそびれないよう、日程や申し込みの〆切をきちんと確認しておきましょう。**